

平成 21 年度 第 2 回常任委員会 議事録

日 時：平成 21 年 7 月 7 日（火） 14:00～17:00

場 所：札幌ガーデンパレス

出席者：宮川委員長、岸幹事長、

石橋、入矢、岡沢、金津、鎌田、河合、河野、黒田、堺、佐藤（勉）、島、新藤、富田、
中村、西垣、二羽、橋本、前川、宮内、睦好、横田、六郷の各常任委員、
信田、服部、濱田（記録）の各幹事、村木（事務局）

オブザーバー；中井氏、ほか 2 名（北海道電力）（資料 2-3 説明）

配布資料：

- 2-0 : 平成 21 年度 第 2 回常任委員会 議事次第
- 2-1 : 平成 21 年度 第 1 回常任委員会 議事録（案）
- 2-2 : 平成 21 年度 コンクリート委員会 一般会計 予算案
- 2-3 : 「循環型社会に適合したフライアッシュコンクリートの最新利用技術」 ―フライアッシュコンクリートの利用拡大に向けた設計施工試案―（土木学会コンクリートライブラリー 132 号）への質問事項および回答
- 2-4-1 : 46.プレストレストコンクリート用金属製シースの局部外力抵抗性試験方法(案)
- 2-4-2 : 46.プレストレストコンクリート用金属製シースの局部外力抵抗性試験方法(案)に対する意見回答書
- 2-4-3 : 47.プレストレストコンクリート用金属製シースの等圧外力抵抗性試験方法(案)
- 2-4-4 : 47.プレストレストコンクリート用金属製シースの等圧外力抵抗性試験方法(案)に対する意見回答書
- 2-4-5 : 48.プレストレストコンクリート用金属製シースの可とう性試験方法(案)
- 2-4-6 : 48.プレストレストコンクリート用金属製シースの可とう性試験方法(案)に対する意見回答書
- 2-4-7 : 49.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの局部外力抵抗性試験方法(案)
- 2-4-8 : 49.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの局部外力抵抗性試験方法(案)に対する意見回答書
- 2-4-9 : 50.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの等圧外力抵抗性試験方法(案)
- 2-4-10 : 50.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの等圧外力抵抗性試験方法(案)に対する意見回答書
- 2-4-11 : 51.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの可とう性試験方法(案)
- 2-4-12 : 51.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの可とう性試験方法(案)に対する意見回答書

- 2-4-13 : 52.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの漏れ試験方法(案)
- 2-4-14 : 52.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの漏れ試験方法(案)に
対する意見回答書
- 2-4-15 : 53.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの曲げ特性試験方法(案)
- 2-4-16 : 53.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの曲げ特性試験方法(案)に
対する意見回答書
- 2-4-17 : 54.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースのすり減り抵抗性試験方法(案)
- 2-4-18 : 54.プレストレストコンクリート用プラスチック製シースのすり減り抵抗性試験方法(案)
に対する意見回答書
- 2-4-19 : 55. プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの付着性能試験方法(案)
- 2-4-20 : 55. プレストレストコンクリート用プラスチック製シースの付着性能試験方法(案)に
対する意見回答書
- 2-5-1 : 土木学会論文集の再編に関するお知らせと確認事項
- 2-5-2 : 土木学会論文集再編(案)および英文論文集名称(案)の確認について
- 2-5-3 : 【論文集再編小委員会】 論文集再編(案)ほかの確認について (メール記録)
- 2-5-4 : 土木学会論文集再編(案)
- 2-5-5 : 通常号と特集号の考え方の整理
- 2-6-1 : 土木学会コンクリート委員会 規準関連小委員会 委員構成 (案) (平成 21 年度)
- 2-6-2 : 環境調和型コンクリート材料学の創造に関する研究委員会 (218 委員会) 委員構成
- 2-7 : 示方書改訂小委員会 環境・共通編・構成検討 3WG 合同議事録案
- 2-8-1 : 「2007 年制定 コンクリート標準示方書に関するアンケート」 データ処理状況報告
- 2-8-2 : 「2007 年制定 コンクリート標準示方書に関するアンケート」 整理データ
- 2-8-2 : 「2007 年制定 コンクリート標準示方書に関するアンケート」 アンケート票
- 2-9-1 : 翻訳出版許可申請書 (中国建築工業出版社)
- 2-9-2 : 【お伺い】 CL82 号の中国語への翻訳出版申請について (メール記録)
- 2-9-3 : コンクリートライブラリー 第 82 号 コンクリート構造物の耐久設計指針 (案) 目次
- 2-9-4 : コンクリート構造物の耐久設計指針 (案) 抜粋
- 2-10 : 平成 21 年度土木学会全国大会 研究討論会一覧 (福岡大学)
- 2-11 : 委員会支援ツールの本運用について ~各委員会へのお願い~ (メール記録)
- 2-12 : 【ご報告】 国土交通省東北地整『東北地方における・・・施工ガイドライン(案)』の
転載について
- 2-13 : コンクリート委員会・第 3 種委員会の公募について
- 2-14 : コンクリート委員会「構造物表層のコンクリート品質と耐久性検証システム研究小委員会」
(3 種委員会) 第二期の委員募集

- 2-15-1 : 日本鉄筋継手協会標準仕様書改訂案についてご意見のお伺い
- 2-15-2 : 日本鉄筋継手協会標準仕様書改訂について
- 2-16 : 土木学会コンクリート委員会第3種委員会 施工性能にもとづくコンクリートの照査・
検査システム研究小委員会 (341 委員会) 委員構成
- 2-17-1 : 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会 ー設計・施工の基本を学ぶー
- 2-17-2 : 「コンクリート構造物の品質評価技術・品質検査制度に関するシンポジウム」開催のご案内
内と発表論文の募集 (予告、詳細未定)
- 2-17-3 : 平成 21 年度土木学会全国大会研究討論会 構造工学委員会
- 2-17-4 : Summer Special Program on Management of Civil Structures

回覧資料:

- ①「循環型社会に適合したフライアッシュコンクリートの最新利用技術」コンクリートライブラ
リー原稿案
- ②「日本鉄筋継手標準仕様書改訂案」

議事

1. 委員長挨拶 (宮川委員長):

本日は「小暑」にあたる季節である。北海道に来るたびに「北海道は暑い」と感じている。常任委員会の議論を活発にお願いしたい、との挨拶がなされた。

2. 前回議事録の確認 (平成 21 年度第 1 回常任委員会)【資料 2-1】:

信田幹事より前回常任委員会の議事録案が読み上げられ、特に修正意見はなく承認された。

3. 審議事項

(1) 平成 21 年度コンクリート委員会予算案について【資料 2-2】:

岸幹事長より、平成 21 年度コンクリート委員会の予算案が説明され、承認された。今年度は予算額が厳しい旨が確認された。

(2) フライアッシュ有効活用調査小委員会指針 (案) (第二回)【資料 2-3、回覧資料】:

前川委員及び中井氏 (オブザーバー) より、指摘事項に対しての修正内容の説明が行われた。主たる説明内容および質疑は以下のとおりである。

- ・指針の改訂とは位置づけていない。
- ・あくまで「試案」と位置付けている。
- ・「外割」「内割」を統合した配合設計の考え方を示した。
- ・資料 2 において、施工事例を追加した。
 - 考え方の浸透には時間を要する。また、外国との連動も必要である。いずれにしてもデータの継続性が重要である (堺委員)。
 - アル骨対応、微粒分 (骨材) 対応というベクトルもある (前川委員)。

- 新しい概念でデータ整理を継続する。(中井氏)
- 委託当初にもう少し絞り込んでおいたほうが作業は容易であったろうと感じている。(金津委員)
- 将来に向けた課題を整理していただきたい。(堺委員)

今後の作業行程について

- ・再度常任委員に見ていただく (pdf で配布する)。
- ・ライブラリーが完成した後に講習会を開催する予定である。

(3) PC 用シースの試験方法 (案) について 【資料 2-4-1~2-4-20】 :

橋本委員より説明があった。主たる説明内容および質疑は以下のとおりである。

- ・規準の制定は、示方書からの要請である (【施工編】特殊コンクリート、12 章プレストレストコンクリート)。
- 温度のチェックはどうなっているのか。(河野委員)
- 感温性のチェックはある (高密度ポリエチレンシース)。(橋本委員)
- fib にも類似の方法がある。PC 建協にも意見紹介をする予定であり、WG で再度検討して回答する。(橋本委員)
- 社内規格がベースになっているのか。(宮川委員長)
- JH 規格は fib がベースになっている。(橋本委員)

今後の作業行程としては、

- ・8月7日まで意見照会を継続し、修正内容は次回常任委員会で報告する。

(4) 土木学会論文集の再編について 【資料 2-5-1~2-5-5】 :

六郷委員より資料の説明があった。

- ・コンクリート委員会の傘下に編集小委員会が構成されることとなる。
- 英文論文集と ACT との棲み分けはどうなるのか。(睦好委員)
- ACT が主であり、学会論文集は従であると認識している。(六郷委員)
- 本当に英文論文集が必要なのか。(睦好委員)
- 英文論文集に関する本格的な議論はこれからである。コンクリート委員会としての基本的なスタンスを固めておく必要がある。(信田幹事)
- 今年の10月までに編集体制を作る必要がある。(信田幹事)

今後の作業行程としては、

- ・論文集再編小委員会に提出する当初案については六郷委員とコンクリート委員長に一任し、引き続き検討を行うこととした。

(5) CL93 号「高流動コンクリート施工指針」と CL100 号「コンクリートのポンプ施工指針 (平成 12 年版)」の改訂について 【資料なし】 :

宮川委員長より、改訂作業に入るための体制を作りたい、旨の説明がなされた。

橋本委員より、以下に示す項目について追加の説明がなされ、質疑が行われた。

- ・ CL93 は 12 年、CL100 は 10 年が経過し、両者ともに改訂の時期にきている。
- ・ JCI の委員会で検討が行われており、成果が出ている。
- ・ ポンプ施工については、安全性（人身事故）、廃棄物処理が問題となっている。
- ・ 土木と建築で用語の統一が必要になってきている。
 - 委託の委員会で行うのか。（堺委員）
 - 具体的な体制作りはこれから行う。（宮川委員長）

(6) 1 種・2 種小委員会委員、「規準関連小委員会」委員構成について【資料 2-6-1】:

宮川委員長より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

(7) 1 種・2 種小委員会委員追加・変更、「環境調和型コンクリート材料学の創造に関する研究委員会（218 委員会）」委員構成について【資料 2-6-2】:

宮川委員長より委員構成案について説明があり、異議なく委員構成が承認された。

5. 報告事項

(1) 示方書改訂小委員会 3 合同 WG について【資料 2-7】:

河野委員より資料に基づき以下のような項目の説明がなされた。

- ・「原則編」を次期改訂の目玉としてはどうか、と考えている。

堺委員より以下のようなコメントが出された。

- 性能設計の性能項目として環境性能を位置づけておくべき。
- ACI において、様々な規準の中に” sustainability” をどのように組み込むかの議論が活発化している。わが国においても、環境に対するさらに活発な議論が必要である。

(2) コンクリート示方書に関する電子アンケートについて【資料 2-8-1～2-8-3】:

服部幹事より資料に基づき現在の取りまとめ状況について説明がなされた。

(3) けい酸塩系表面含浸材設計施工指針（案）作成の受託について【資料なし】:

岸幹事長より現在の状況について説明がなされた。次回の理事会で承認される予定である旨説明がなされた。

(4) CL82 号「コンクリート構造物の耐久設計指針（案）」の中国語への翻訳出版申請について【資料 2-9-1～2-9-4】:

岸幹事長より資料に基づき現在の状況について説明がなされた。出版を了承する方向で出版委員会に回答をすることとなった。

(5) 全国大会研究討論会企画案について【資料 2-10】:

信田幹事より、資料に基づき説明がなされた。

(6) 委員会支援ツールの本運用について【資料 2-11】:

岸幹事長より、資料に基づき説明がなされた。

- (7) 国交省東北地整『東北地方における・・・施工ガイドライン(案)』の転載について【資料 2-12】：
岸幹事長より、資料に基づき説明がなされた。
- ・ 次回の理事会の承認を受けた後に、相手方に回答する。
 - 収入の考え方が明確でない。(河野委員)
 - 出版委員会はコンクリート委員会の考え方を尊重するとの意見である。(岸幹事長)
 - 今後、考え方を検討すべきでは。(河野委員)
- (8) コンクリート委員会・第3種委員会の公募について【資料 2-13】：
岸幹事長より、資料に基づき説明がなされた。
- ・ 若干遅くなったが、多くの応募をお願いする。
- (9) 335 小委員会（第2期）の委員公募について【資料 2-14】：
岸幹事長より、資料に基づき説明がなされた。
- (10) 複合構造標準示方書（案）に関する意見照会について【資料なし】：
岸幹事長より、口頭で以下の説明がなされた。
- ・ 「多くの修正意見がだされたことに感謝する」とのコメントが上田委員よりあった。
- (11) 日本鉄筋継手標準仕様書改訂案について【資料 2-15-1、2-15-2、回覧資料】：
睦好委員より、資料に基づき以下の項目について説明がなされた。
- ・ 3つの継手を併せて仕様書を作成した。
 - ・ 新システムにこれらのファイルをアップロードしている。
 - ・ 7月24日までに意見をいただきたい。
 - ・ 特に、コンクリート委員会の継手指針を作成された石橋委員には、十分にご検討いただきたいとの要請があった。
 - 溶接が使われているのか（服部幹事）。
 - 建築では多用されている（睦好委員）。
- (12) 3種委員会委員の追加・交代、341 小委員会（施工性能にもとづくコンクリートの照査・検査システム研究小委員会）【資料 2-16】：
岸幹事長より委員構成案（委員の追加）について説明がなされた。
- (13) 講習会・シンポジウム等開催案内・報告、教育研究小委員会「若手中堅実務者のためのコンクリート講習会」（吉田賞選考小委員会との共催）【資料 2-17-1】：
服部幹事より、資料に基づき説明がなされた。
- (14) 講習会・シンポジウム等開催案内・報告、
- ・ 216 小委員会成果報告会（予告）【資料 2-17-2】：
岸幹事長より、資料に基づき説明がなされた。
 - ・ 第53回日本学術会議材料工学連合講演会について（10/19～21）【資料なし】：
服部幹事より、今年度は一般セッションで開催する旨の説明がなされた。

- ・ 構造工学委員会 研究討論会「土木構造物標準示方書（共通編、作用・荷重編）の策定に向けて」
【資料 2-17-3】：
睦好委員より、全国大会初日（9月2日）に資料のとおり開催する旨の説明がなされた。
- ・ 構造工学委員会「構造物の維持管理に関するサマープログラム」（Summer Special Program on the Management of the Civil Structures (Aug.24-27、2009)）（留学生対象）【資料 2-17-4】：
睦好委員より資料のとおり開催する旨の説明がなされた。

6. その他

次回幹事会：2009年8月21日（金）土木学会（案件の締切は前日 8/20）

次回常任委員会（兼コンクリート委員会）：2009年9月1日（火）14:00～17:00 福岡

以 上